

第1章 法人の事業

1 法人の理念

◇ 創設の精神、及び社会の要請を理念とする。

① 「仏教保育三綱領」を理念とする保育園

- 1 慈心不殺(じしんふせつ) 生命尊重の保育
- 2 佛道成就(ぶつどうじょうじゅ) 正しきをみて絶えず進む保育
- 3 正業精進(しょうぎょうしょうじん) 良き社会人をつくる保育

② 親の子育てと就労の両立を支援する保育園

③ 地域の子育てを支援する保育園

2 施設・設備

◇ 敷地 法人自己所有 面積870.35㎡

◇ 建物 鉄筋コンクリート造スレート葺2階建て 延べ床面積575.91㎡

◇ 施設の内容 保育室 0歳児 沐浴含 53.38㎡ (>5.0×9人=45)
()は基準面積 1歳児 40.43㎡ (>3.3×12人=39.6)
人数は24年度現員 2歳児 58.23㎡ (>1.98×22人=43.56)
3~5歳 3室 127.29㎡ (>1.98×66人=130.68)
ホール 46.63㎡

調理室 34.63㎡

トイレ・事務室その他 218.62㎡

園庭 530㎡ (>3.3×2歳以上86人=283.8)

◇ 設備の種類 全室冷暖房 プール(組立式)
窓ガラスは学校用強化ガラスおよび飛散防止加工ガラス使用
機械警備システム 非常通報装置(学校110番 監視カメラ)

3 25年度の法人運営

◇ 理事会の開催

開催日	議決事項
5月27日(月)	出席 理事6(書面1) 監事2
議決事項	平成24年度決算報告案 原案通り可決 平成24年度事業報告案 原案通り可決 平成24年度監査報告案 原案通り可決
9月30日(月)	出席 理事6(書面1) 監事2
議決事項	平成25年度第一次補正予算案 原案通り可決
1月27日(月)	出席 理事6(書面2) 監事2
議決事項	平成25年度第二次補正予算案 原案通り可決 経理規程の改正 原案通り可決
3月24日(月)	出席 理事6 監事1
議決事項	平成25年度第三次補正予算案 原案通り可決 給与規程の改正案 原案通り可決 平成26年度事業計画案 原案通り可決 平成26年度予算案 原案通り可決

◇ その他の活動

5月21日(火) 監事による平成24年度事業の監査

10月11日(金) 東京都監査事務局による財政援助団体等監査 (サービス推進費監査)

◇ 役員研修参加

10月 8日(水) 東京都 社会福祉法人役員(監事)研修

11月26日(火) 東京都 社会福祉法人役員(監事)研修

1月28日(火) 東京都 社会福祉法人役員(理事)研修

4 ひなぎく保育園の事業

◇ 名称 ひなぎく保育園

◇ 所在地 〒184-0002 東京都小金井市梶野町2丁目7番5号

TEL 0422-51-2640 0422-55-4417 FAX 0422-36-2568

◇ 認可年月日 平成2年9月17日

◇ 事業開始年月日 平成2年7月1日
(昭和27年3月～平成2年6月まで個人立雛菊保育園、以後事業継続)

◇ 園長氏名 高橋みさ子

◇ 入所定員 0歳 もも 9名 3歳 さくら 21名
1歳 ちゅうりっぷ 10名 4歳 ひまわり 21名
2歳 たんぼぼ 18名 5歳 ゆり 21名

(※待機児解消のため、基準の範囲内で定員を超えた受け入れを実施)

◇ 保育事業の種類 11時間開所 延長保育 零歳児保育 障害児保育
一時預かり保育 定期利用保育 地域子育て支援

◇ 開園日・開園時間および休園日

・開園日 月曜日から土曜日まで

・開園時間 7時00分から19時00分

・うち延長保育時間 18時00分から19時00分

・休園日 日曜日・祝祭日 年末年始12月29日から1月3日まで

◇ 25年度職員体制

年齢と入所定数	保育士配置基準	25年度受入数	必要保育士数	現員保育士数
0歳児 9名	3:1	9名	3	3+非常勤
1歳児 10名	5:1	12名	2.4	3+非常勤
2歳児 18名	6:1	22名	3.6	4
3歳児 21名	20:1	22名	1.1	5+非常勤
4・5歳児 42名	30:1	44名	1.4	
一時預かり保育	(定期5 一事)	定員 (10名)	2.0	1+非常勤
		副園長・主任等	1.0	3
合計 100名		109名	14.5	19+非常勤

◇ 職員数

職 種	常勤(資格・常勤的非常勤含む)	非常勤(短時間パートを含む)		
園長	1	(園長・保育士)		
副園長	1	(保育士1)		
統括主任	1	(保育士1)		
主任保育士	1	(保育士1)		
保育士	15	(保育士15)	保育パート	22
看護師	1	(看護師1)	(一時・障害含む)	(有資格11)
栄養士	1	(栄養士1)		
調理員	3	(栄2・調1)	調理パート	3
事務	1			
合計	25			25

第2章 保育の内容

1 保育の方針・計画

- ◇ 「仏教保育三綱領」に基づき、子どもの豊かな心を育てることを目指す保育に努めた。
- ◇ 乳児期の担当制、幼児期のたてわり保育、遊びの環境づくりを3本の柱として「ひとりひとりを大切に
する保育」の実践に努めた。
- ◇ 毎日の保育の流れ デイリープログラムを大切にし、基本的な流れを変えないことを原則とした。
- ◇ 行事 年間行事計画に従って実施する。概ね計画通り実施した。
- ◇ 園外保育
 - ・遠足 3歳 徒歩遠足 小金井公園
 - 4歳 9/30 バス遠足 多摩動物園
 - 5歳 11月1日
 - ・散歩 小金井公園 梶野公園 境西公園 上水南公園 他
- ◇ 体操教室 4・5歳児を対象に、幼児体育指導員による体操教室を月2回実施。
- ◇ リトミック教室 2・3・4・5歳児を対象に、講師によるリトミック教室を月1回実施。
- ◇ 読み聞かせの会 ボランティアによる読み聞かせの会を月2回実施。

2 園児数とクラス編成

年齢	組名	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	もも	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
1歳	ちゅうりっぷ	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2歳	たんぽぽ	18	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
3歳	さくらG	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21
4歳	ひまわりG	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
5歳	ゆりG	21	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	合計	100	108	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	108

述べ保育人数1307名のうち、管外受託児述べ26名

武蔵野市5歳児1 小平市3歳児1 府中市0歳児1

0～2歳 年齢別		0歳児	1歳児	2歳児
		もも組	ちゅうりっぷ組	たんぽぽ組
3～5歳 たてわり	部屋名	3歳児	4歳児	5歳児
(異年齢児混合)	きりん組・こあら組	さくらグループ	ひまわりグループ	ゆりグループ

- 3 保育時間
- ② 午前7時00分より午後6時00分を普通保育時間とし、午後6時00分より7時00分を延長保育時間とした。
- ③ 早朝・夕方(延長)の保育対象児数 (26. 3月)

年齢・クラス名	在籍	7:30在園	17:30在園	18:00～延長保育
0歳もも	9	6	9	5
1歳ちゅうりっぷ	12	10	12	7
2歳たんぼぼ	22	17	21	12
3歳さくらG	21	17	21	13
4歳ひまわりG	22	17	22	9
5歳ゆりG	22	17	21	10
合計	108	84	106	56

4 延長保育

- ① 延長保育実施要綱に従って、実施した。
- ② 利用は、満1歳以上の園児とし、原則として利用申請による登録制とする。
- ③ 利用料は、登録者月3000円とし、保育園が集金。
- ⑥ 平均利用児童数

4月 29名	7月 29名	10月 35名	1月 31名	一日平均 30名
5月 29名	8月 22名	11月 28名	2月 30名	
6月 31名	9月 32名	12月 32名	3月 28名	

5 乳児保育

- ◇ 産休明け(生後57日)より受け入れるが、25年度は産休明け対象児なし。

6 障害児保育

- ◇ 相談・観察・保育指導を受け実施 発達相談員 巡回指導 療育機関の見学等

第3章 栄養管理

1 栄養管理

① 食事の目標

計画に掲げた内容を保育計画に沿いながら実践した。

② 栄養給与目標

「食事摂取基準」に基づき献立を計画した。年間を通して、目標量の105%前後で満たすことができた。たんぱく質は微量栄養素の確保を考えて130%を上限とした。

2 食事の方針

- ◇ 栄養バランスのよい食事
- ◇ 安心、安全な食事

3 食育

- ◇ 楽しく食事しながら、食を営む力の基礎を培うために計画の内容を実践した。

4 乳児の食事

- ・食事によって咀嚼能力を身につけて、自分で食べようとする意欲を育てられるように努めた。
- ・療育を受けている児の通っている療育機関の情報を食事作りに活用した。
- ・発達に沿って、食具の長さや大きさ、種類を毎月ごとに変えていった。

5 配慮を必要とする子どもへの対応

- ・食物アレルギー、その他の理由で特定の食品の除去や栄養量に制限を必要とする子どもに対しては計画どおりに対応した。診断書に加えて、具体的な食品の指示がわかる内容、誤食誤飲の際の対処法のわかる「食事の個別対応届」の提出を願い、個別に対応できるように準備した。

6 食事の評価と改善

計画の内容を実践した。

7 保護者、地域への働きかけ

- ・毎月の予定献立表、ひろばだよりで望ましい食生活情報や料理のアイデアについての情報やレシピ紹介の記事を取り上げた。

5 25年度のけが、事故、感染症の状況 別紙のとおり

【病気(熱・湿疹・嘔吐・下痢など)で
保護者に連絡を入れた件数】

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
4月	6	1	2				9
5月	13	4		3	4	2	26
6月	7	2		3	1	2	15
7月	9	4	2	4	1	1	21
8月	5	3	2	2	3	1	16
9月	8		3	2		1	14
10月	7	3		5	1	8	24
11月	6	3	6	1	3	2	21
12月	3	2	3	3	2	3	16
1月	6	1		1		1	9
2月			1	2	4	2	9
計	70	23	19	26	19	23	180

【感染症の件数】

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
4月	突発性発疹 1					
5月	インフルエンザ ⁺ 1 突発性発疹 1	プール熱 1	プール熱 1	インフルエンザ ⁺ 1	溶連菌 1	
6月				溶連菌 2	溶連菌 1 手足口病疑い 1 とびひ 1	
7月	手足口病 5	手足口病 5 ヘルパンギーナ 1	とびひ 2 手足口病 1		溶連菌 1 手足口病 1	
8月	手足口病 2	ヘルパンギーナ 1	手足口病 4 溶連菌 1			
9月	Aデングウイルス腸炎 3				手足口病 1	
10月	手足口病 2 突発性発疹 1	手足口病 1	手足口病 4			溶連菌 1 手足口病 3
11月				手足口病 1	溶連菌 1	溶連菌 1 手足口病 1
12月	ウイルス性胃腸炎 2 ノロウイルス 1		嘔吐下痢症 1			溶連菌 1
1月				インフルエンザ ⁺ A 1		
2月	ウイルス性胃腸炎 1 インフルエンザ ⁺ A 1		インフルエンザ ⁺ A 1	インフルエンザ ⁺ A 3	インフルエンザ ⁺ B 1	インフルエンザ ⁺ A 1

H25【けが、事故の内容】

内容	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
遊具でのけが		1			2	3	6
室内での転倒・打撲・けが	6	10	1	2	2	3	24
外遊びでの転倒・打撲・けが	5	6	2	8	5	3	29
引っ掻きによる傷	5	8	3	10	3	3	32
噛みつきによる傷	6	66	5				77
玩具・他児の手・足があたった	1	1		1	2	2	7
玩具を投げる、たたく		1	1				2
子ども同士でぶつかった		4	1	1	2		8
散歩中・先のけが			1	4		3	8
フェンスにぶつける		1					1
ドアに挟む・転倒・打撲			1	1			2
割れた食器で手を切る				1	1		2
包丁で切る						1	1
テラスでの転倒・玩具によるけが	1	5					6
庭のブドウを鼻に入れる		1					1
柵にぶつかる・はさむ		4	3			1	8
引き出しに指を挟む		1					1
つままれる		5	1	2		2	10
舌を噛む、唇をかむ	1	6					7
合計	25	120	19	30	17	21	232

医療機関受診件数

歯科	3件
整形外科	4件
眼科	4件
皮膚科	5件
外科	1件

第5章 保育園と保護者の連携

1 園からの発行文書

◇ 家庭連絡文書

- ・ほいくえんのしおり 入園時、年度初めに園生活の重要事項説明書として全家庭に配布する。
- ・園だより「ひなぎく」 毎月1日 月の行事計画・クラス便り・お知らせ等
- ・保健だより 毎月1日 保健に関する情報・連絡等
- ・献立表 毎月1日 乳・幼児別献立 食事に関する情報等
- ・その他お知らせ等

◇ 毎日のお知らせ

- ・登降板 感染症情報 不審者情報等の掲示

2 園と保護者の連絡方法

◇ 連絡帳

◇ 緊急連絡簿・緊急連絡網・緊急時園児引き取り表を整備し、常に新しい情報の把握に努めた。

◇ 一斉連絡網（子ども安全連絡網(フェアキャスト)）

3 保護者会等

◇ 懇談会

年3回、クラス別・年齢別に開催し、園と保護者の情報交換の場とした。

クラス別全体懇談会 5/25 2/22

年齢別 0歳10/8 1歳10/15 2歳11/5 3歳11/19 4歳11/12 5歳10/24

◇ 保育参加

保護者の希望の日時に、個別の保育参加・個人面談を受け付けた。

参加数 年間延べ 85名

◇ ひなぎくコミュニティ

保護者と保育園が協力し合ってさまざまな活動を行った。(園行事のサポートのほか(通称ひなコミ) 安全を考える会 本の貸し出し、フリーマーケット、就学懇談会、卒園児プレゼント他)

4 個人情報の取り扱い

◇ 保護者から提出された個人情報については、個人情報取扱規程により取り扱った。

◇ 重要な個人情報に関わる書類の保管は書庫を施錠するものとし、管理責任者を定めて管理した。

第6章 安全管理

1 非常災害時の対策

◇ 消防計画

職員への周知徹底に努めた。

小金井消防署 平成25年1月31日変更届出

防火管理者 園長 高橋みさ子

◇ 防火管理委員会

火災、震災対策を講じるとともに、自衛消防組織を編成し、訓練に努めた。

◇ 避難訓練

毎月1回、全職員・園児の参加する地震・火災を想定した避難訓練を行い、年齢なりの防災知識を身につける。

◇ 防災設備

自動火災報知設備 誘導灯 消火器

備蓄倉庫3箇所(食料品・毛布・薬品等)

◇ 避難場所(別紙7)

第一避難場所 小金井第三小学校(一時避難場所)

第二避難場所 都立小金井公園(広域避難場所)

◇ 職員緊急連絡網、園児緊急時引取り票を整備した。

2 防犯対策

◇ 警備員の配置 7:00-10:00 16:00-19:30 (業務委託 FCS)

非常通報装置(学校110番) 110番直結の装置

機械警備システム 監視カメラ設置（業務委託セントラル警備保障）

- ◇ 職員は防犯マニュアルに従って行動する。年2回防犯訓練を行う。
- ◇ ・不審者侵入防止の為、園内に入る関係者すべてがカードを提示するよう徹底を呼びかけた。
- ◇ 5歳児を対象にCAP講習会(子どもへの暴力防止プログラム)、4. 5歳児を対象に「命のお話し会」を実施し、子ども自身が暴力から身を守り、自分を大切にすることの大事さを教える機会とした。
CAP 1/27,28,29（NPO青い空） 命のお話し会 9/3(杏林大学)

3 施設設備の安全対策

- ◇ 建築基準法による定期検査を受審し、報告した。（雄建築事務所）
特殊建築物定期調査 7/17報告 建築設備定期検査12/25報告
- ◇ リフトは毎月整備点検(リョーデンエレベータ施設) ゴミサー(エイアイシー)
- ◇ 毎月2回自主点検日を決めて、設備や遊具等の安全点検を行う。
- ◇ 安全を考える会と協力して、設備や保育上の安全を考え、改善に取り組んだ。
カーブミラーを大きいものと交換 「飛び出し注意」看板設置 2階階段上の扉の位置の変更等。

4 ヒヤリハット

- ◇ ヒヤリハットは小さな案件でも必ずミーティング簿に記入し、全職員が情報と対応を共有した。
- ◇ 事故につながる危険のある件は報告書を提出し、今後の対策を共有した。

5 交通安全対策

6 賠償責任保険

- ◇ 学校健康センター加入 保育中のけが等の医療費の給付
- ◇ 全私保連賠償責任保険 対人1名2億円まで/1事故10億円まで

7 放射性物質に対する対策

- ◇ 戸外の活動については、1日2回東京都福祉保健局のホームページで空間放射線量を確認するとともに、小金井市、隣接の市のホームページ等で情報を収集して記録して判断した。

第7章 事業内容に関する相談・苦情

1 苦情解決制度

- ◇ 保育に関する相談や事業全般に係る要望、苦情等に対して迅速に対応するため「利用者からの苦情解決の取り組みに関する実施要綱」に基づき、窓口を設ける。保護者に対しては「苦情申し出窓口のお知らせ」を配布および掲示で周知を図った。
- ◇ 保護者からの相談・苦情については誠実な対応と迅速な解決・改善に努めた。

2 意見や要望の収集

- ◇ 第三者評価利用者アンケート 9月24日～10月8日実施 回収率44.9%(40/89家庭)
・概ね良好な評価を受けたが、「要望や不満が言いにくい」「安全対策(施設面・不審者対策)」「戸外遊び・散歩が少ない」の3点について、改善計画を保護者に文書で配布した。
- ◇ その他のアンケート・意見箱
・保護者参加の行事終了後実施し、次回の参考資料とした。
・ひなコミ「安全を考える会」によるアンケートを実施し、出された意見を検討して、改善できる件は実行した。(安全対策)
- ◇ 意見箱を設置したが、利用した案件はなかった。

3 25年度寄せられた苦情、要望または保護者と話し合った案件

- ◇ 第三者委員
・0歳児 下痢で受診し、医師の許可をもらったのに受け入れを拒否された。お尻がただれているのに薬をつけてもらえない。→保護者と直接話し合い、誤解や不快感を招く対応を謝罪した。

◇ 連絡帳等

- ・3歳児 年長男児にたたかれてこぶができていた。同じ子がたたくのを何度も目撃した。親をまじえて話し合いたい→謝罪し、園の対応を説明。

第8章 地域とのかかわり

1 ひなぎく保育園分館「くすのき」

2 地域子育て支援事業

◇ 地域に住む子育て家庭を中心として「ひなぎくひろば」として次の活動を実施した。

- ・パートナー登録をし、登録カードを発行 25年度登録者94名(新規56 継続38)
- ・講演会 6/15「昔話の伝承と絵本の歴史」講師三田村慶春氏 参加8組19名
11/16「ママのための防災講座」9組16名
- ・父親講座 9/14「坐禅」長昌寺 参加9組12名
2/8「こどもの気持ちとおとなの気持ち」さいとう一紀氏 参加8組10名
- ・親子で遊ぼう 作って遊ぼう
5/29 リトミック(毛塚真美氏) 7組14名
7/3 七夕飾り 19組33名 (長生会指導)
7/27 小学生の工作教室 8名
9/11 わらべうた(船木深雪氏) 11組22名
10/30 移動動物園 88組195名(他保育園含む)
11/16 小学生の工作教室(フリマ会場) 6名
11/20 おみせやさんごっこ 13組36名(他保育園含む)
11/27 手作りおもちゃ 9組18名
12/11 クリスマス飾り 8組16名
1/15 伝承あそび(高砂会指導) 6組12名
2/19 ひな飾り 5組10名
3/3 ひなまつり観劇会 12組25名
- ・子育てサークル支援 「おはなし会」(八田珠穂氏)11回延べ66組148名
「ちいさなであい」11回延べ79名179名
- ・ママになる前の母親学級 7回 延べ43組85名
- ・在宅親子の保育所体験 クラス保育8名 園児との交流等(親子で遊ぼう作って遊ぼう)
- ・卒園児や地域の児童との交流 夕涼み会 運動会 工作教室 お楽しみ会 三小演劇部 学校学童見学
- ・子育て情報誌「ひなぎくひろば」の発行 10回
- ・公園等への出前保育ほかほかたいむ 10回

◇ 毎週水曜日の午前中は、園庭開放を実施 延べ97組201名

◇ 育児相談を随時受け付ける。保育士、看護師、栄養士のほか、育児相談員による発達相談を行った。

3 一時預かり保育事業

◇ 一時預かり保育は、東京都定期利用保育事業要綱に基づく定期利用保育および、ひなぎく保育園一時預かり保育事業実施要綱に基づく一時預かり保育を同時に行った。

◇ 定員10名 定期利用が3か月ごとに抽選を行って利用を受けた。

◇ 年間利用者数

- 一時預かり 4時間未満39名 4時間以上1205名
- 定期利用 4時間未満7名 4時間以上1177名

第9章 職員の処遇

1 職員の処遇

- ・職員の処遇は、就業規則および給与規程その他の諸規程により決定した。
- ・勤務体制は4週間を単位とする変形労働時間制をとり、4週7休により週平均労働時間40時間とした。

2 健康管理

- ◇ 定期健康診断 年2回 常勤・非常勤全員
40歳以上および35歳の常勤職員は、うち1回を社会保険による生活習慣病健診を受け、その他の職員は園医による健診を受けた。
- ◇ 健診の内容 (全職員)
心電図検査 年1回 検尿 年2回
血液検査 年1回 検便 毎月1回
胸部X線 年1回
- ◇ 予防接種 インフルエンザ予防接種の費用を園負担とした。
はしか抗体の確認を必ず行い、水痘・流行性耳下腺炎、風疹等抗体接種がないと思われる職員には接種を勧めた。

3 研修

- ◇ 職員心得の徹底 「ひなぎく保育園の職員として」を各自所持し、職員心得として遵守するよう指導。
- ◇ 園内研修 研修係が計画し、原則として全職員が参加した。
 - ・常勤職員 年2回の定例研修会の他、必要に応じて実施した。
25年度の研修テーマ
①自主的個別遊びの充実・提供法の継続 ②保育の実践力を高める
5/25 自主研修「自主的個別遊びの充実・提供法」
保育支援ソフト「はぐくむ保育」のデモ(講師シーアイエヌ中尾氏)
6/15 「保育の実践力を高める～造形活動を通して育つもの」
講師中村照三氏(竹早保育専門学校)
10/12 自主研修「自主的個別遊びの充実・提供法」
エビペン実技講習(指導 秋本看護師)
11/2,3,4 「はぐくむ保育」の操作と活用(シーアイエヌ中尾氏)
11/16 「乳幼児の表現の場としての造形～乳幼児の言葉を託す素材と出会う」
講師 照沼晃子氏(関東学院大学) 補佐 鈴木亨氏(サクラクレパス)
12/21 外部研修報告 生活リズム 気になる子の対応2名 食物アレルギーの緊急対応
・非常勤職員 全パート職員を対象に年1回実施した。常勤職員もほぼ全員参加した。
- ◇ 園外研修 2/1 「こども一人ひとりを大切に～職員として基本的・具体的な関わり方」
講師 影山竜子氏(わかくさ保育園)

- ・公的機関、加盟保育団体の行う研修は出張命令により参加させた。
- ・経験年数、個々の希望等によって、個別の研修目標を立て、計画的に研修に参加させた。

4 人材育成と組織力の向上

- ・職員はキャリアパスシートに従って自己評価を行い、園長が個別に面接を行った。
- ・保育支援ソフト「はぐくむ保育」を導入し、業務の適正化と省力化を目的に全職員で活用に努めた。

5 福利厚生

◇ 費用負担

- ・健診費、検便検査料
- ・職員親睦会や研修、会議等の昼食、行事等の飲食費に補助を行った。

◇ 保険

- ・東京都社会福祉協議会 労災上乗せ保険加入(全職員)
- ・全私保連 保育園職員団体傷害保険加入(全職員)

◇ 退職金

- ・(独)福祉医療機構 社会福祉施設職員等退職共済加入 (常勤職員・常勤的非常勤職員)
- ・東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入 (常勤職員)

第10章 設備整備

1 平成25年度の設備整備

- ◇ 園庭整備 ブランコ・鉄棒下クッション材敷き替え 通路ゴムマット
- ・厨房釜、排水補修 ・0歳畳張替 ・インターホン設置(雷による故障)
- ・丸テーブル研磨塗装 ・天窓、雨どい、壁面等各所修繕
- ◇ 小金井市より、設備整備費995000円の補助金を受けた。

第11章 財務報告

1 本部経理区分

- ・施設経理区分より、事務費分として250,000円の繰り入れを行った。
- ・経常収入428,384円、経常支出284,396円 当期資金収支差額143,988円
当期末支払資金残高 2,138,621円となった。

2 施設経理区分

- ・経常活動における収入は219,854,889円であり、昨年度と予算規模は変わらないが、保育士等処遇改善加算、一時保育補助金増、利用料収入増があり、昨年比5,000,000円の増収となった。
- ・支出の内容および経常活動収入計219,854,889円にしめる比率(昨年度の比率)

人件費	155,539,692円	70.7%	(74.5%)
事務費	31,028,825円	14.1%	(10.6%)
事業費	19,147,783円	8.7%	(8.4%)

- ・当期資金収支差額 1,551,999円
- ・当期末支払資金残高 24,888,559円
- ・繰越率 6.6% (当期資金収支差額+積立金/経常収入)
- ・当期末支払資金残高の割合 12.04%(当期末支払資金残高/運営費(都・市含む))
- ・その他の積立金総額 128,801,680円
- ・資金総額 153,690,239円